



## 2026年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月9日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東  
 コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 野村秀輝  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO (氏名) 齋藤高広 (TEL) 03-6805-9785  
 定時株主総会開催予定日 2026年7月28日 配当支払開始予定日 2026年7月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年7月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年4月期の連結業績(2025年5月1日~2026年4月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期	38,197	13.3	1,518	△4.8	1,506	△4.9	932	△8.5
2025年4月期	33,721	13.0	1,594	△6.2	1,584	△7.9	1,019	△6.0

(注) 包括利益 2026年4月期 1,017百万円(△2.2%) 2025年4月期 1,041百万円(△5.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年4月期	74.38	—	11.6	8.7	4.0
2025年4月期	80.87	—	14.0	10.6	4.7

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年4月期	18,535	8,701	45.3	668.80
2025年4月期	16,257	7,865	46.9	608.53

(参考) 自己資本 2026年4月期 8,390百万円 2025年4月期 7,628百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年4月期	553	△1,903	432	3,526
2025年4月期	1,420	△640	171	4,441

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年4月期	—	7.00	—	8.00	15.00	188	18.5	2.6
2026年4月期	—	8.00	—	8.00	16.00	200	21.5	2.5
2027年4月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00		16.7	

## 3. 2027年4月期の連結業績予想(2026年5月1日~2027年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,618	12.0	875	62.3	859	58.0	489	36.5	39.04
通期	43,153	13.0	2,217	46.0	2,200	46.0	1,351	44.8	107.71

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名)株式会社メディカルガレージ、除外 1社(社名)―
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年4月期	12,752,000株	2025年4月期	12,752,000株
② 期末自己株式数	2026年4月期	206,789株	2025年4月期	216,352株
③ 期中平均株式数	2026年4月期	12,542,434株	2025年4月期	12,602,499株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	13
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(収益認識関係) .....	15
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、円安を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰、中東情勢の影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

美容サロン業界におきましては、値上げや高付加価値サービスによる顧客単価の上昇に成功したサロンと価格競争に巻き込まれるサロンとの差が拡大しております。また、カテゴリー別ではアイビューティサロンの成長が続く一方で、エステサロンは倒産件数も高止まりしており、厳しい状況となっております。

そのような状況下、当社グループでは年度を通して、新物流拠点（柏FC）の開設と安定稼働に力を注いでまいりましたが、その過程で既存物流拠点との平行運用が続いていたことから支払送料や人材派遣費用、梱包資材費などの一次的な費用の増加に直面してまいりました。ただし、当第4四半期連結累計期間において、既存拠点（柏DC）から新物流拠点（柏FC）への消耗品出荷の機能移管も概ね完了し、出荷キャパシティの拡大と生産性向上を成し遂げることが出来ております。

この結果、当連結会計年度における売上高は38,197,005千円（前年同期比13.3%増）、売上総利益は9,250,362千円（前年同期比9.4%増）、営業利益は1,518,314千円（前年同期比4.8%減）、経常利益は1,506,460千円（前年同期比4.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は932,968千円（前年同期比8.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイビューティサロン等向けに提供しております。

当連結会計年度におきましては、商品ラインナップの拡充とECサイトの更なる進化・改善、各種サービスの強化に努めるとともに、柏FCの開設により美容業界No.1の物流体制構築を目指して取り組んでまいりました。また、2025年12月には水平展開による顧客領域の拡大での成長を実現するべく、医療機器・美容機器卸売業/クリニック開業支援を営む、㈱アルク（現㈱メディカルガレージ）をグループ子会社化いたしました（2026年1月業績より連結対象）。

この結果、物販事業全体としての売上高は31,193,368千円（前年同期比12.5%増）、セグメント利益は1,249,403千円（前年同期比0.5%増）となりました。

#### ②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより、東京・札幌・仙台・金沢・名古屋・大阪・福岡の7拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで美容サロンにおける独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。

当連結会計年度におきましては、比較的高単価の医療・クリニック案件を多数獲得することが出来、受託案件数、平均顧客単価共に伸ばすことが出来ました。通期で過去最高の売上高を記録しましたが、一方で一部不採算案件が生じたことや材料費・人件費等の原価の高騰により利益面では前年を下回る結果となりました。

この結果、当事業の売上高は3,924,823千円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は182,974千円（前年同期比33.0%減）となりました。

③ソリューション事業（当連結会計年度より、「その他周辺ソリューション事業」から「ソリューション事業」へとセグメント名称を変更致しました。）

ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業支援・開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給、マーケティング支援サービス等の各種ソリューションサービスを、専門WEBサイトと全国主要都市のショールーム、法人営業チーム、各グループ会社を通して提供しております。

当連結会計年度におきましては、人材採用など積極的な投資やグループ会社間の連携強化を行った結果、堅調に各種サービスの契約件数を伸ばすことが出来ました。当事業の売上高は3,078,813千円（前年同期比25.0%増）、セグメント利益は314,502千円（前年同期比3.7%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、13,495百万円となりました。これは、主に売掛金及び契約資産の増加があったことによるものであります。

## (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて59.3%増加し、5,039百万円となりました。これは、主に有形固定資産の増加及び投資その他の資産の増加があったことによるものであります。

## (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.0%増加し、6,920百万円となりました。これは、主に仕入債務及び前受金の増加によるものであります。

## (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて46.8%増加し、2,913百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加があったことによるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べて10.6%増加し、8,701百万円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少200百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加932百万円があったことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ915百万円減少し、3,526百万円増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、553百万円（前年同期は1,420百万円増加）となりました。これは、主に棚卸資産の増加があったものの、税金等調整前当期純利益の計上及び仕入債務の増加があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,903百万円（前年同期は640百万円減少）となりました。これは、主に新物流拠点の開設に係る有形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、432百万円（前年同期は171百万円増加）となりました。これは、主に長期借入による収入があったことによるものであります。

#### (4) 今後の見通し

今後の美容業界におきましては、美容サロンの値上げに伴い顧客単価が上昇する一方で、業務委託サロンやシェアサロンの増加といった現象に象徴されるフリーランスの急増、という働き方の変化が更に加速していくものと見込まれます。また、オーバーストアと言われて久しい美容サロンの、各業態間での競争もさらに激化するとともに、デジタル化やAIの活用も進むことから、集客方法や顧客対応に加えてバックオフィス業務も変化していくと思われま

す。そのような大きな変化の時代が到来するという見通しの中で、当社はITテクノロジーと物流力を武器とし、美容業界の変革をリードしていく存在になりたいと考えております。そのためにこれからも新たな価値を続々と創造し、既存事業の進化と掛け合わせ、ワンストップサービスにいつそう磨きをかけ、サロンコンシェルジュNo.1企業の確立を目指してまいります。

2027年4月期は、安定稼働に成功した新物流拠点（柏FC）を生かして、物流サービスの大幅なレベルアップを図るとともに、生産性の向上に伴う販管費の削減が可能になるものと考えております。また、鍼灸・整骨院、美容クリニック、SPA・温浴施設、フィットネスジム向けといった、顧客領域の拡大による水平展開型の成長戦略を推し進めてまいります。

以上により、2027年4月期の連結業績予想につきましては、売上高43,153百万円（前年同期比113.0%）、営業利益2,217百万円（前年同期比147.4%）、経常利益2,200百万円（前年同期比147.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益1,351百万円（前年同期比146.4%）を見込んでおります。

なお、上記に記載した将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当連結会計年度 (2026年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,448,634	3,536,132
受取手形、売掛金及び契約資産	3,616,206	3,973,447
リース投資資産	293,177	629,237
営業投資有価証券	172,158	75,018
商品及び製品	3,375,530	3,737,446
仕掛品	154,017	177,745
前渡金	263,060	424,657
その他	792,336	999,481
貸倒引当金	△21,935	△57,298
流動資産合計	13,093,186	13,495,867
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	249,388	549,716
機械及び装置（純額）	24,136	1,307,505
車両運搬具（純額）	7,137	8,453
工具器具備品（純額）	68,141	87,421
土地	41,804	38,099
リース資産（純額）	—	19,168
建設仮勘定	89,345	—
有形固定資産合計	479,954	2,010,364
無形固定資産		
ソフトウェア	244,565	230,406
のれん	137,961	106,562
その他	50,559	26,017
無形固定資産合計	433,086	362,986
投資その他の資産		
投資有価証券	337,172	473,379
繰延税金資産	428,855	463,837
敷金保証金	1,408,923	1,643,121
その他	79,355	88,162
貸倒引当金	△2,748	△2,158
投資その他の資産合計	2,251,559	2,666,341
固定資産合計	3,164,600	5,039,692
資産合計	16,257,786	18,535,560

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当連結会計年度 (2026年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,590,925	2,922,088
短期借入金	25,000	253
1年内返済予定の長期借入金	679,016	747,518
未払金	410,768	422,487
未払法人税等	426,417	240,018
前受金	867,130	1,100,856
契約負債	311,073	370,034
賞与引当金	90,517	104,030
製品保証引当金	10,918	7,933
受注損失引当金	1,763	6,689
株主優待引当金	3,900	7,000
株式報酬引当金	14,248	13,074
情報セキュリティ対策引当金	—	10,000
その他	975,904	968,688
流動負債合計	6,407,584	6,920,672
固定負債		
長期借入金	1,440,461	2,262,301
退職給付に係る負債	35,172	33,729
資産除去債務	78,721	169,771
その他	430,168	448,022
固定負債合計	1,984,523	2,913,823
負債合計	8,392,107	9,834,496
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	818,498	824,185
利益剰余金	6,311,272	7,043,594
自己株式	△243,856	△233,078
株主資本合計	7,654,299	8,403,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,009	△8,823
為替換算調整勘定	△5,915	△4,053
その他の包括利益累計額合計	△25,925	△12,877
非支配株主持分	237,304	310,854
純資産合計	7,865,679	8,701,064
負債純資産合計	16,257,786	18,535,560

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
売上高	33,721,346	38,197,005
売上原価	25,265,747	28,946,642
売上総利益	8,455,598	9,250,362
販売費及び一般管理費	6,861,249	7,732,048
営業利益	1,594,348	1,518,314
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,080	14,258
為替差益	—	19,327
受取手数料	8,427	7,461
保険解約益	—	11,103
その他	7,725	9,238
営業外収益合計	29,233	61,389
営業外費用		
支払利息	11,799	30,946
チャージバック損失	130	—
持分法による投資損失	5,237	17,096
為替差損	13,795	—
その他	8,355	25,200
営業外費用合計	39,319	73,243
経常利益	1,584,263	1,506,460
特別利益		
固定資産売却益	—	16,894
段階取得に係る差益	—	900
特別利益合計	—	17,794
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4,499
情報セキュリティ対策費用	—	8,080
情報セキュリティ対策引当金繰入額	—	10,000
特別損失合計	—	22,579
税金等調整前当期純利益	1,584,263	1,501,674
法人税、住民税及び事業税	623,007	536,556
法人税等調整額	△104,634	△40,130
法人税等合計	518,372	496,425
当期純利益	1,065,890	1,005,249
非支配株主に帰属する当期純利益	46,726	72,280
親会社株主に帰属する当期純利益	1,019,164	932,968

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
当期純利益	1,065,890	1,005,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,786	11,186
為替換算調整勘定	△2,054	1,363
その他の包括利益合計	△24,840	12,549
包括利益	1,041,049	1,017,798
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	994,327	946,016
非支配株主に係る包括利益	46,722	71,782

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	794,585	5,469,011	△80,608	6,951,373
当期変動額					
剰余金の配当			△176,903		△176,903
親会社株主に帰属する当期純利益			1,019,164		1,019,164
自己株式の取得				△169,449	△169,449
自己株式の処分		5,403		6,200	11,604
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		18,509			18,509
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	23,913	842,261	△163,248	702,926
当期末残高	768,385	818,498	6,311,272	△243,856	7,654,299

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,776	△3,864	△1,088	189,426	7,139,712
当期変動額					
剰余金の配当					△176,903
親会社株主に帰属する当期純利益					1,019,164
自己株式の取得					△169,449
自己株式の処分					11,604
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					18,509
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△22,786	△2,051	△24,837	47,878	23,040
当期変動額合計	△22,786	△2,051	△24,837	47,878	725,967
当期末残高	△20,009	△5,915	△25,925	237,304	7,865,679

当連結会計年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	818,498	6,311,272	△243,856	7,654,299
当期変動額					
剰余金の配当			△200,646		△200,646
親会社株主に帰属する当期純利益			932,968		932,968
自己株式の処分		5,449		10,778	16,228
連結子会社の増資による持分の増減		237			237
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	5,686	732,321	10,778	748,787
当期末残高	768,385	824,185	7,043,594	△233,078	8,403,086

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△20,009	△5,915	△25,925	237,304	7,865,679
当期変動額					
剰余金の配当					△200,646
親会社株主に帰属する当期純利益					932,968
自己株式の処分					16,228
連結子会社の増資による持分の増減					237
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11,186	1,861	13,048	73,549	86,598
当期変動額合計	11,186	1,861	13,048	73,549	835,385
当期末残高	△8,823	△4,053	△12,877	310,854	8,701,064

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,584,263	1,501,674
減価償却費	194,948	346,359
のれん償却額	69,875	68,945
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	4,499
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,708	16,053
契約負債の増減額 (△は減少)	48,350	58,961
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,137	△2,985
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	10,651	15,054
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△8,234	20,095
受取利息及び受取配当金	△13,080	△14,258
支払利息	11,799	30,946
持分法による投資損益 (△は益)	5,237	17,096
保険解約益	—	△11,103
助成金収入	△514	△1,465
有形固定資産売却損益 (△は益)	△545	△16,894
固定資産除却損	—	3,901
売上債権の増減額 (△は増加)	△746,237	△237,837
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△233,340	△642,955
仕入債務の増減額 (△は減少)	575,006	241,331
前渡金の増減額 (△は増加)	△41,110	△161,596
未払金の増減額 (△は減少)	19,279	6,971
未払消費税等の増減額 (△は減少)	127,674	△78,440
未払費用の増減額 (△は減少)	229,861	24,414
前受金の増減額 (△は減少)	343,741	230,924
その他	△192,806	60,667
小計	1,987,663	1,480,359
利息及び配当金の受取額	13,080	14,258
利息及び保証料の支払額	△12,110	△31,994
保険の解約による収入	—	11,103
助成金の受取額	514	1,465
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△569,014	△921,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,420,134	553,997

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20,400	△27,602
定期預金の払戻による収入	30,900	24,600
有形固定資産の取得による支出	△215,747	△1,642,120
有形固定資産の売却による収入	545	36,794
無形固定資産の取得による支出	△83,646	△82,918
投資有価証券の取得による支出	△178,763	△105,072
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	119,379
敷金保証金の差入による支出	△196,609	△292,654
敷金保証金の回収による収入	28,897	61,567
その他	△5,778	4,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△640,601	△1,903,986
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	20,000	△25,000
長期借入れによる収入	1,113,000	1,664,077
長期借入金の返済による支出	△626,139	△991,990
リース債務の返済による支出	△9,038	△9,259
自己株式の取得による支出	△169,449	—
非支配株主からの払込みによる収入	30,680	7,776
配当金の支払額	△176,842	△200,575
非支配株主への配当金の支払額	△11,014	△12,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	171,196	432,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,362	1,559
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	935,366	△915,504
現金及び現金同等物の期首残高	3,506,468	4,441,834
現金及び現金同等物の期末残高	4,441,834	3,526,329

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当連結会計期間より、新たに株式を取得した株式会社アルクを連結の範囲に含めております。なお、2026年2月1日付けで社名を株式会社メディカルガレージに変更いたしました。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、建物を除くその他の有形固定資産の減価償却方法について、当社及び国内連結子会社は定率法を採用しておりましたが、当連結会計期間より、定額法に変更しております。

当社グループは新たに策定された中期経営計画2025-2029の実現に向けて、新物流センターの開設準備を進めて参りました。これを契機に当社グループの減価償却方法について再検討した結果、当社グループの物販事業において今後、取引高は一定の成長率を維持しながらも、倉庫設備の稼働は概ね安定的に推移することが見込まれるため、有形固定資産の減価償却方法として定額法を採用することが費用配分の観点から合理的であり、経済実態をより適切に反映できると判断し、今回の変更を行うものであります。

この変更により従来の償却方法に比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ126,612千円増加しております。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別のセグメントから構成されており、「物販事業」、「店舗設計事業」及び「ソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「物販事業」は、理美容室やエステティックサロン・ネイルサロン等の各種ビューティサロンで使用する理美容機器・化粧品等の仕入、販売を行っております。「店舗設計事業」は、店舗の内装工事等に関する設計・施工・監理を行っております。「ソリューション事業」は、理美容室やビューティサロンに対する不動産仲介・開業支援・ITサポート・保険事業等を行っております。

#### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	ソリューション事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	10,017,324	—	—	10,017,324	—	10,017,324
化粧品等	17,244,520	—	—	17,244,520	—	17,244,520
金属スチール家具	471,240	—	—	471,240	—	471,240
その他	—	3,525,378	721,800	4,247,178	—	4,247,178
顧客との契約から生じる収益	27,733,085	3,525,378	721,800	31,980,264	—	31,980,264
その他の収益	—	—	1,741,081	1,741,081	—	1,741,081
外部顧客への売上高	27,733,085	3,525,378	2,462,882	33,721,346	—	33,721,346
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,492	45,089	12,503	81,084	△81,084	—
計	27,756,577	3,570,467	2,475,385	33,802,430	△81,084	33,721,346
セグメント利益	1,243,469	273,292	326,476	1,843,237	△248,888	1,594,348
その他の項目						
減価償却費	178,766	9,587	6,288	194,643	304	194,948
のれんの償却費	69,875	—	—	69,875	—	69,875

(注) 1. セグメント利益の調整額△248,888千円には、セグメント間取引消去2,608千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△251,497千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

5. その他の収益は、企業会計基準第13号[リース取引に関する会計基準]に基づく賃貸収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	ソリューション事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	10,414,054	—	—	10,414,054	—	10,414,054
化粧品等	20,290,511	—	—	20,290,511	—	20,290,511
金属スチール家具	488,801	—	—	488,801	—	488,801
その他	—	3,924,823	815,916	4,740,739	—	4,740,739
顧客との契約から生じる収益	31,193,368	3,924,823	815,916	35,934,107	—	35,934,107
その他の収益	—	—	2,262,897	2,262,897	—	2,262,897
外部顧客への売上高	31,193,368	3,924,823	3,078,813	38,197,005	—	38,197,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,180	125	13,594	36,899	△36,899	—
計	31,216,548	3,924,948	3,092,408	38,233,905	△36,899	38,197,005
セグメント利益	1,249,403	182,974	314,502	1,746,880	△228,566	1,518,314
その他の項目						
減価償却費	330,878	10,261	5,627	346,768	245	347,013
のれんの償却費	68,945	—	—	68,945	—	68,945

(注) 1. セグメント利益の調整額△228,566千円には、セグメント間取引消去55,741千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△284,308千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、企業会計基準第13号[リース取引に関する会計基準]に基づく賃貸収入等であります。

4. 当連結会計期間より「その他周辺ソリューション事業」としていたセグメント名称を「ソリューション事業」に変更しております。当該名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。なお、前連結会計年度の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報」に記載のとおりであります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
1株当たり純資産額※3	608.53 円	668.80 円
1株当たり当期純利益金額※2	80.87 円	74.38 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額※1	－ 円	－ 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,019,164	932,968
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,019,164	932,968
普通株式の期中平均株式数(株)	12,602,499	12,542,434

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当連結会計年度 (2026年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	7,865,679	8,701,064
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	237,304	310,854
(うち非支配株主持分(千円))	(237,304)	(310,854)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	7,628,374	8,390,209
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	12,535,648	12,545,211

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。